

岡山県感染症週報 2012 年 第 17 週 (4 月 23 日～4 月 29 日)

【お知らせ】次回、第 18 週 (4/30～5/6) 岡山県感染症週報は、5 月 11 日 (金) にホームページに掲載いたします。

岡山県は、『インフルエンザ注意報』発令中です。

◆2012 年 第 17 週 (4/23～4/29) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第 15 週 2 類感染症 結核 3 名 (70 代 男 1 名、80 代 男 1 名・女 1 名)
- 第 16 週 2 類感染症 結核 3 名 (30 代 女 1 名、50 代 女 2 名)
- 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (80 代 男)
- 5 類感染症 ウイルス性肝炎 1 名 (50 代 男)
- 第 17 週 2 類感染症 結核 3 名 (30 代 女 1 名、40 代 女 1 名、80 代 男 1 名)
- 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (80 代 女)

■定点把握感染症の発生状況

- 感染性胃腸炎は、2 週つづけて減少しましたが、美作地域では感染症発生レベル 3 が継続しています。
- インフルエンザは、県全体で 162 名 (定点あたり 1.93 人) の報告があり、前週より減少しました。

【第 18 週 速報】

- インフルエンザとみられる学校の臨時休業が、玉野市の小学校 1 校でありました。(5 月 1 日)
- 水痘による学校閉鎖が、玉野市の幼稚園 1 園でありました。(5 月 1 日)

1. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、前週より減少しましたが (定点あたり 10.50 → 9.50 人)、過去 10 年の同時期に比べ、患者が多い状態で推移しています。詳しくは『[感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。
2. **インフルエンザ**は、県全体で 162 名 (定点あたり 1.93 人) の報告があり、前週 (定点あたり 2.93 人) よりさらに減少しました。岡山県ではひきつづき『[インフルエンザ注意報](#)』を発令し、注意喚起を図っています。県内の発生状況・臨時休業情報などは『[インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。
 全国の第 16 週 (4/16～4/22) の定点あたり報告数は 5.36 人 (前週 5.56 人) であり、第 6 週以降減少が続いています。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★
感染性胃腸炎		★★★★	水痘		★★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		★★
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

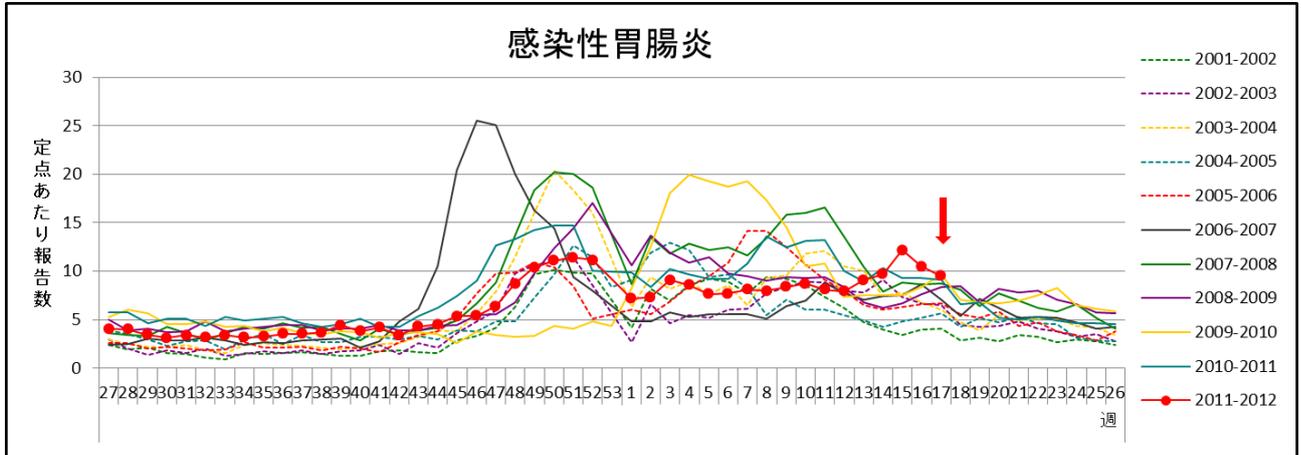
前週からの推移：
 2 倍以上の減少 1.1～2 倍未満の減少 1.1 未満の増減
 1.1～2 倍未満の増加 2 倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い
 ※定点当り患者数について、過去 5 年間の標準偏差値を 5 等分し、流行状況の目安として 5 段階で表示しています。

感染性胃腸炎情報 第 17 週 2012 年 4 月 23 日～4 月 29 日

【お知らせ】次回、第 18 週（4/30～5/6）感染性胃腸炎情報は、5 月 11 日（金）にホームページに掲載いたします。

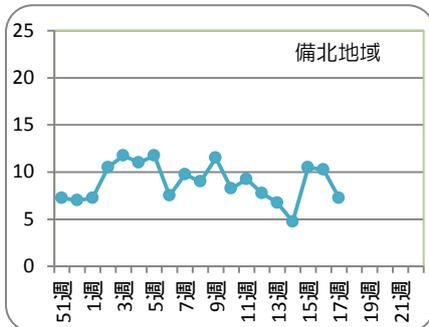
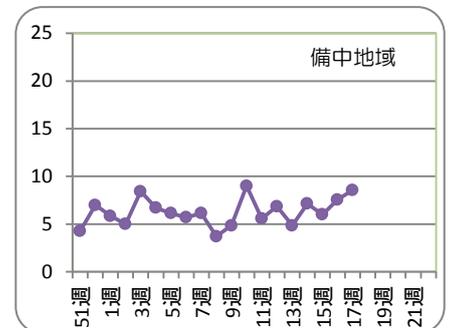
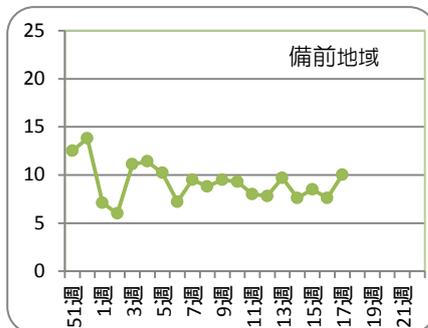
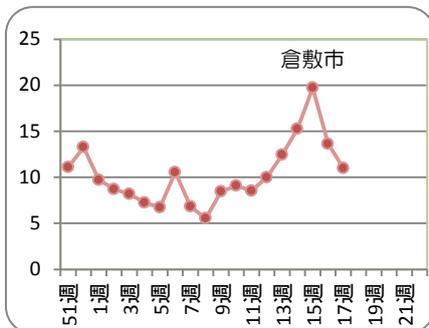
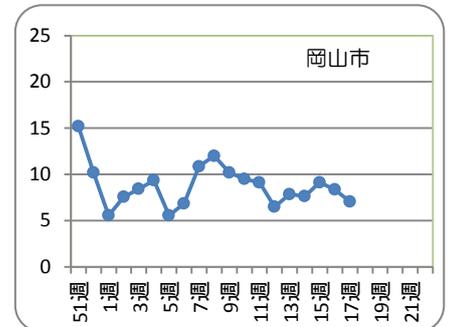
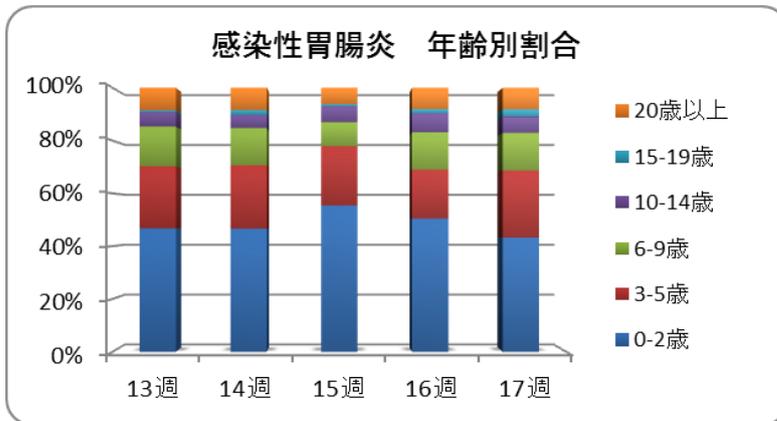
- 岡山県内の患者報告数は 513 名（定点あたり 9.50 人）で、前週より減少しました。
- 美作地域では、感染症発生レベル 3 が継続しています。
- おう吐・下痢による臨時休業が、倉敷市の幼稚園 1 園でありました。（4 月 26 日）



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週～今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、第 15 週以降 2 週つづけて減少しました（54 定点医療機関 定点あたり 10.50 → 9.50 人）。しかし、過去 10 年の同時期に比べ、患者の多い状態で推移しています。地域別では美作地域（15.17 人）、倉敷市（11.00 人）で患者が多く、美作地域では感染症発生レベル 3 がつづいています。患者は、0-2 歳の乳幼児が最も多くみられますが、今週は 3-5 歳の幼児が増加し、低年齢層が全体の約 70% を占めています。

全国の[感染性胃腸炎のウイルス検出報告](#)では 2 月頃からノロウイルスが減少し、ロタウイルスが増加傾向です。手洗いを励行するなど感染予防に努めるとともに、今後の動向に注意してください。



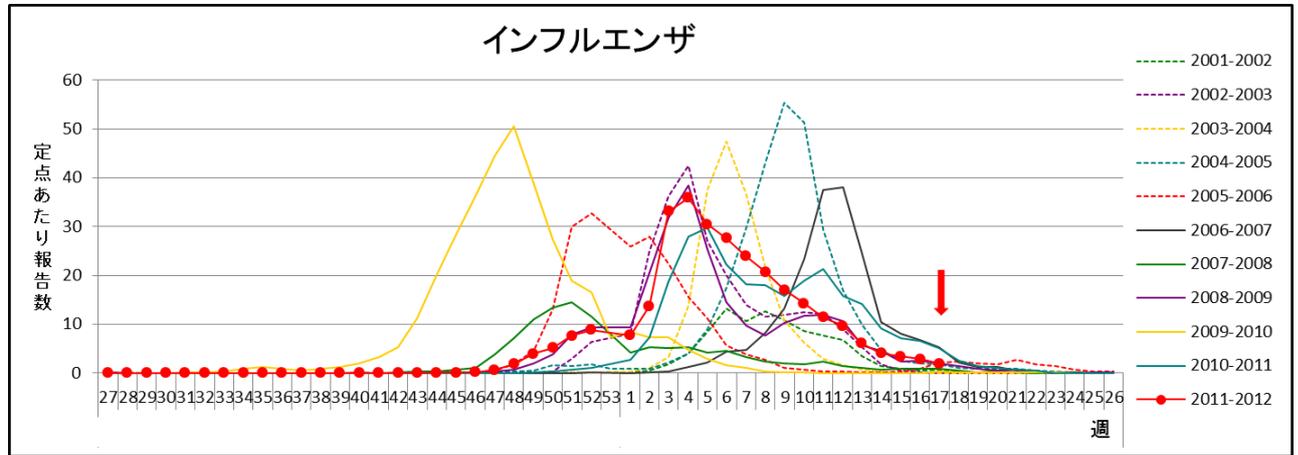
インフルエンザ情報 第 17 週 2012 年 4 月 23 日～4 月 29 日

【お知らせ】次回、第 18 週（4/30～5/6）インフルエンザ情報は、5 月 11 日（金）にホームページに掲載いたします。

岡山県は、『インフルエンザ注意報』発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 162 名（定点あたり 1.93 人）となり、前週より減少しました。
- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が、5 施設でありました。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週～今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

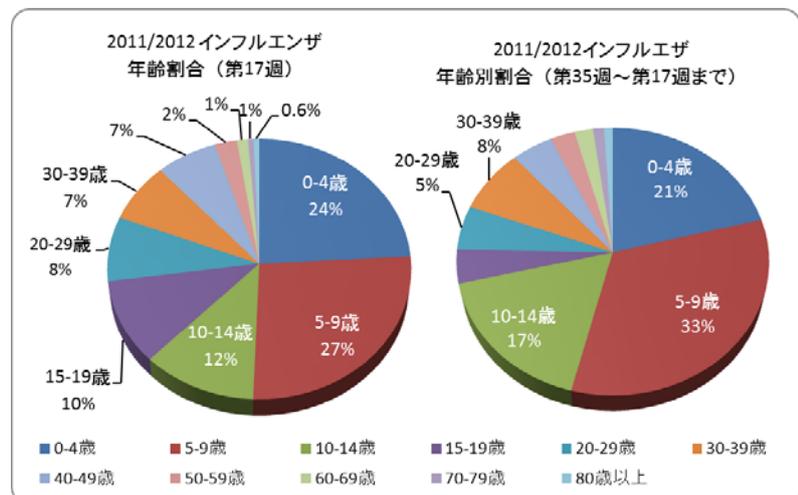
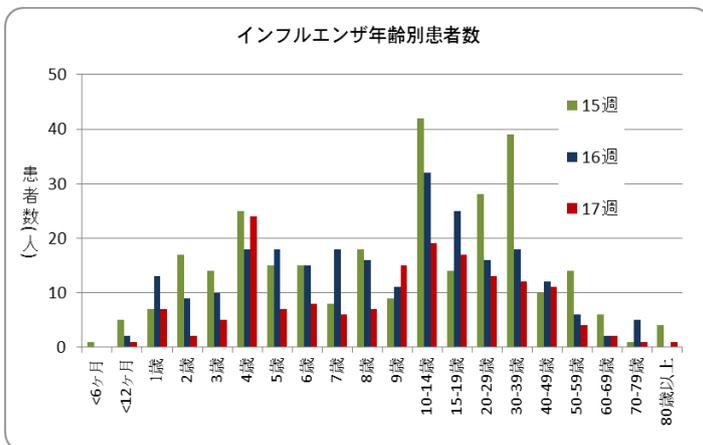
インフルエンザ患者数は 162 名（84 定点医療機関 定点あたり 1.93 人）となり、前週（246 名 定点あたり 2.93 人）より減少しました。地域別では、美作地域（3.60 人）、備北地域（3.50 人）、岡山市（2.23 人）、倉敷市（1.69 人）、真庭地域（1.67 人）、備前地域（1.00 人）、備中地域（0.75 人）の報告があり、備北地域を除いた県内ほぼ全域で患者が減少しました。流行は終息に向かっているものの、まだ患者発生がつついているため、岡山県はひきつづき「インフルエンザ注意報」を発令し、注意喚起を図っています。

『手洗い・うがいを徹底する。』『咳エチケットを心がける。』など、感染予防に努めてください。また、症状のある方は早めに医療機関を受診しましょう。

[○全国のインフルエンザ発生状況（国立感染症情報センター）](#)

1. 年齢別患者発生状況 第 17 週（4/23～4/29）

第 17 週、患者の年齢割合は 5-9 歳が全体の 27% で最も多く、0-4 歳が 24%、10-14 歳が 12% の順でした。ひきつづき幼稚園児、小学生、中学生に該当する年齢層が多くを占めています。

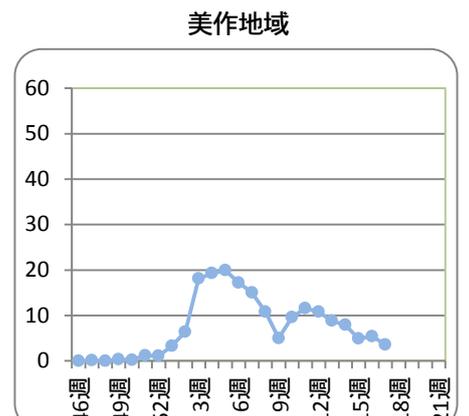
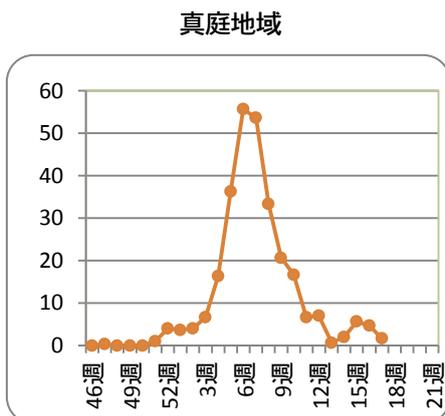
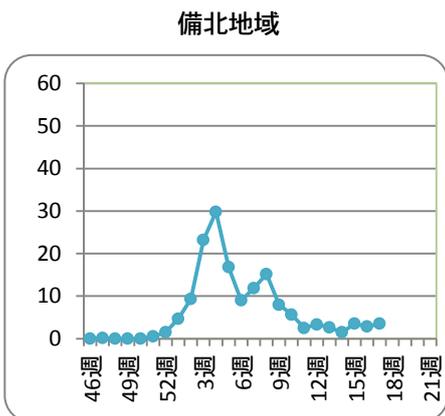
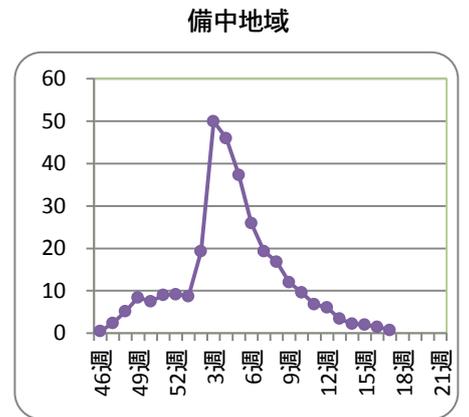
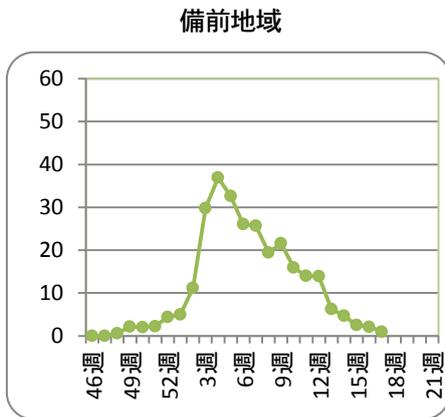
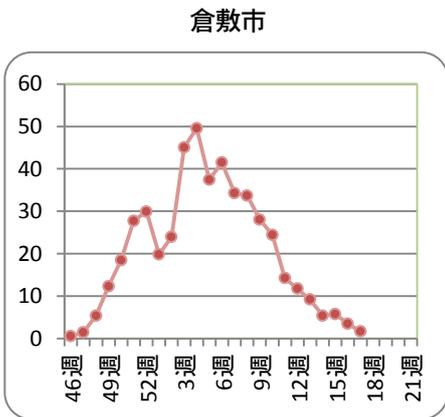
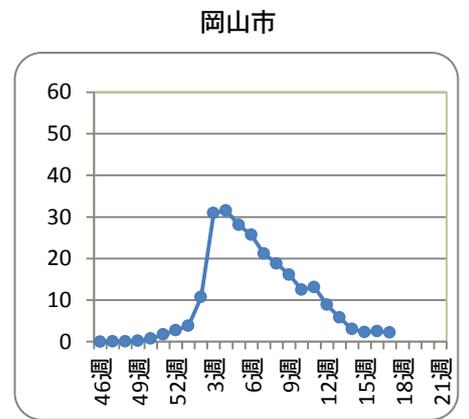
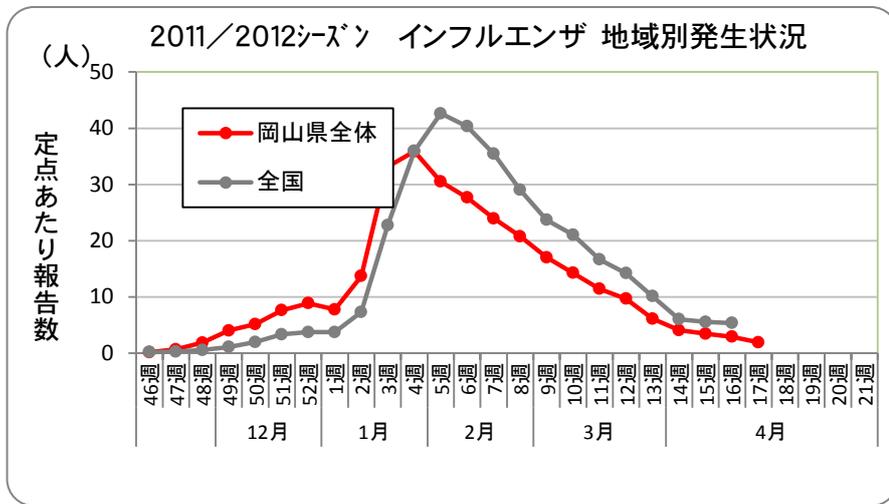


2. 地域別発生状況

第 17 週 (4/23~4/29) 前週からの推移 (単位: 人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	162	↓	備 中	患者数	9	↓
	定点あたり	1.93			定点あたり	0.75	
岡山市	患者数	49	↓	備 北	患者数	21	↑
	定点あたり	2.23			定点あたり	3.50	
倉敷市	患者数	27	↓	真 庭	患者数	5	↓
	定点あたり	1.69			定点あたり	1.67	
備 前	患者数	15	↓	美 作	患者数	36	↑
	定点あたり	1.00			定点あたり	3.60	

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ 2倍以上の減少 ↓ 1.1~2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↑ 1.1~2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加

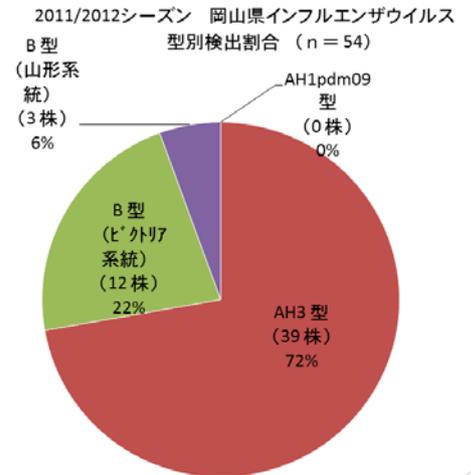
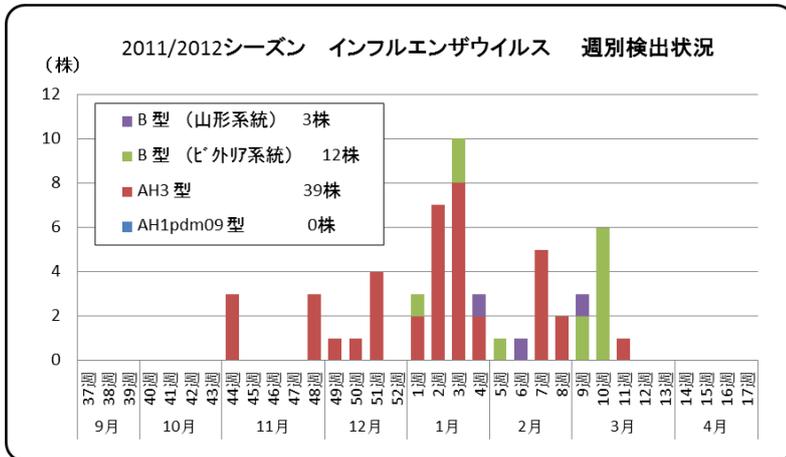


➤ **インフルエンザウイルス検出状況 第17週（4/23～4/29）**

第17週、当センターで検出されたインフルエンザウイルスはありません。

今シーズン県内では、AH3型が39株、B型（ビクトリア系統）が12株、B型（山形系統）が3株検出されています。

これまで全国で検出されたインフルエンザウイルスの累計は、AH3型の割合が最も多く75.8%、B型が24.0%、AH1 pdm09型が0.2%の順になっています。AH3型が主流でしたが、現在検出されているウイルスの多くはB型です。
[（国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012シーズン）](#)



➤ **インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第17週（4/23～4/29）**

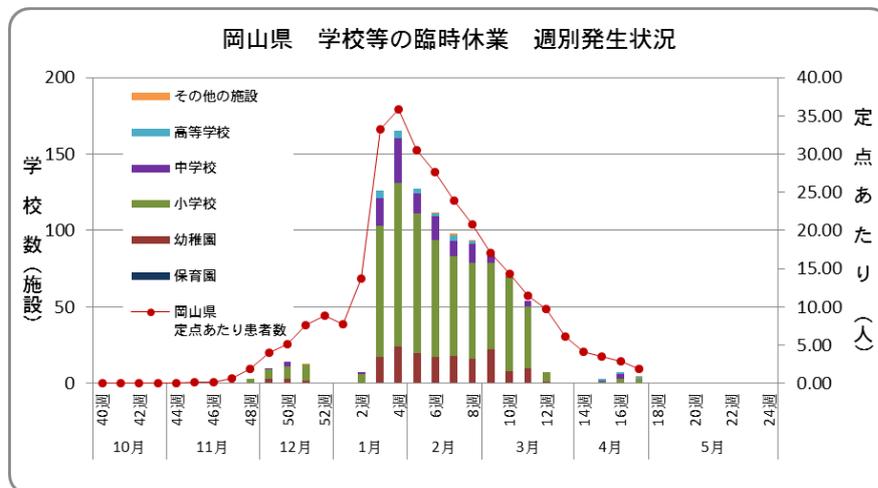
第17週、学校等の臨時休業が、5施設でありました。

措置別：休校・休園 0施設、学年閉鎖 1施設、学級閉鎖 4施設

施設別：保育園 0施設、幼稚園 0施設、小学校 3施設、中学校 0施設、高等学校 1施設、その他 1施設

第17週までの合計は、有症者数 15,579 名、うち欠席者数 11,440 名、施設数はのべ 1,001 施設になりました。

[岡山県 インフルエンザとみられる臨時休業（健康推進課ホームページ）](#)



1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

【第17週】（4/23～4/29）

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち 欠席者数		施設数合計		休園・ 休校数		学年閉鎖 施設数		学級閉鎖 施設数		初発 年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	39	15,579	38	11,440	5	1,001	0	42	1	286	4	673	H23.10.31
岡山市	2	6,596	2	4,606	1	387	0	4	1	67	0	316	H23.12.15
倉敷市	0	3,692	0	2,764	0	220	0	7	0	39	0	174	H23.10.31
備前地域	26	1,979	25	1,604	3	150	0	6	0	67	3	77	H23.12.5
備中地域	0	1,410	0	1,184	0	116	0	10	0	46	0	60	H23.11.30
備北地域	0	313	0	227	0	29	0	3	0	12	0	14	H24.1.16
真庭地域	0	537	0	341	0	33	0	7	0	22	0	4	H24.1.13
美作地域	11	1,052	11	714	1	66	0	5	0	33	1	28	H24.1.16

2. 臨時休業施設数の内訳 第17週（4/23～4/29）

第17週：5施設

累計：1,001施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	—	161	3	695	—	115	1	25	1	5

➤ 入院時の状況と年齢別内訳 第17週（4/23～4/29）（県内基幹定点 5医療機関による報告）

第17週、インフルエンザによる入院患者はありませんでした。

これまでの入院患者の多くは4歳以下の幼児と、70歳以上の高齢者です。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがあり、また、乳幼児ではまれに脳症を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

【平成23年9月5日以降に入院した各患者の累計数】

* 重複あり

年齢	1歳未 満	1～4 歳	5～9 歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	計*
入院患者数	11	21	13	3	1	1	2	1		6	13	21	93
ICU入室										1	2		3
人工呼吸器の利用											1		1
頭部CT検査(予定含)	1	7	4	1	1						4	2	20
頭部MRI検査(予定含)	1	3									3	1	8
脳波検査(予定含)	1	6	1								3	1	12
いずれにも該当せず	10	12	9	2		1	2	1		5	7	19	68

保健所別報告患者数 2012年 17週 (2012/04/23～2012/04/29)

2012年5月2日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	162	1.93	49	2.23	27	1.69	15	1.00	9	0.75	21	3.50	5	1.67	36	3.60
RSウイルス感染症	8	0.15	1	0.07	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	5	0.83
咽頭結膜熱	12	0.22	4	0.29	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	1.15	23	1.64	16	1.45	4	0.40	1	0.14	-	-	4	2.00	14	2.33
感染性胃腸炎	513	9.50	99	7.07	121	11.00	100	10.00	60	8.57	29	7.25	13	6.50	91	15.17
水痘	90	1.67	24	1.71	32	2.91	10	1.00	11	1.57	8	2.00	-	-	5	0.83
手足口病	4	0.07	4	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	7	0.13	4	0.29	-	-	-	-	-	-	2	0.50	-	-	1	0.17
突発性発疹	26	0.48	7	0.50	8	0.73	5	0.50	2	0.29	1	0.25	-	-	3	0.50
百日咳	3	0.06	1	0.07	-	-	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	29	0.54	10	0.71	10	0.91	3	0.30	4	0.57	2	0.50	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	3	0.60	1	0.25	1	1.00	1	1.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	0.80	3	3.00	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 17週 (2012/04/23～2012/04/29)

2012年5月2日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	162	1.93	49	2.23	27	1.69	15	1.00	9	0.75	21	3.50	5	1.67	36	3.60
咽頭結膜熱	12	0.22	4	0.29	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	1.15	23	1.64	16	1.45	4	0.40	1	0.14	-	-	4	2.00	14	2.33
感染性胃腸炎	513	9.50	99	7.07	121	11.00	100	10.00	60	8.57	29	7.25	13	6.50	91	15.17
水痘	90	1.67	24	1.71	32	2.91	10	1.00	11	1.57	8	2.00	-	-	5	0.83
手足口病	4	0.07	4	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	7	0.13	4	0.29	-	-	-	-	-	-	2	0.50	-	-	1	0.17
百日咳	3	0.06	1	0.07	-	-	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	29	0.54	10	0.71	10	0.91	3	0.30	4	0.57	2	0.50	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	3	0.60	1	0.25	1	1.00	1	1.00	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2 を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第17週 2012/04/23~2012/04/29)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	162	-	1	7	2	5	24	7	8	6	7	15	19	17	13	12	11	4	2	1	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	8	2	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	12	-	4	5	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	-	-	1	3	9	11	20	4	3	5	2	3	-	1
感染性胃腸炎	513	10	45	99	68	51	45	34	21	15	15	22	32	14	42
水痘	90	1	8	18	16	11	10	9	7	3	1	3	3	-	-
手足口病	4	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	7	-	1	-	-	1	2	1	1	1	-	-	-	-	-
突発性発疹	26	3	14	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	3	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	29	-	-	1	5	6	3	4	2	3	1	-	2	-	2

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	1	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
マイコプラズマ肺炎	4	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

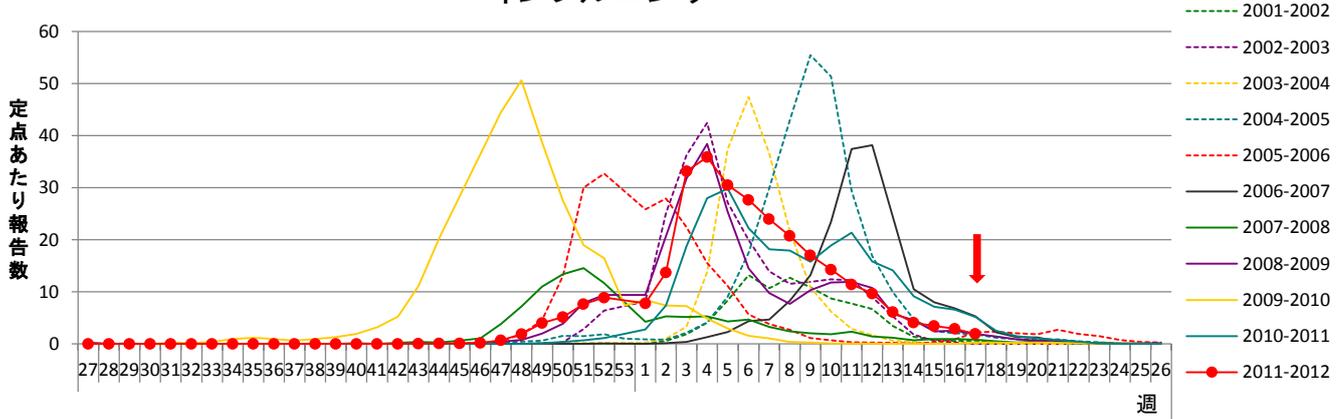
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

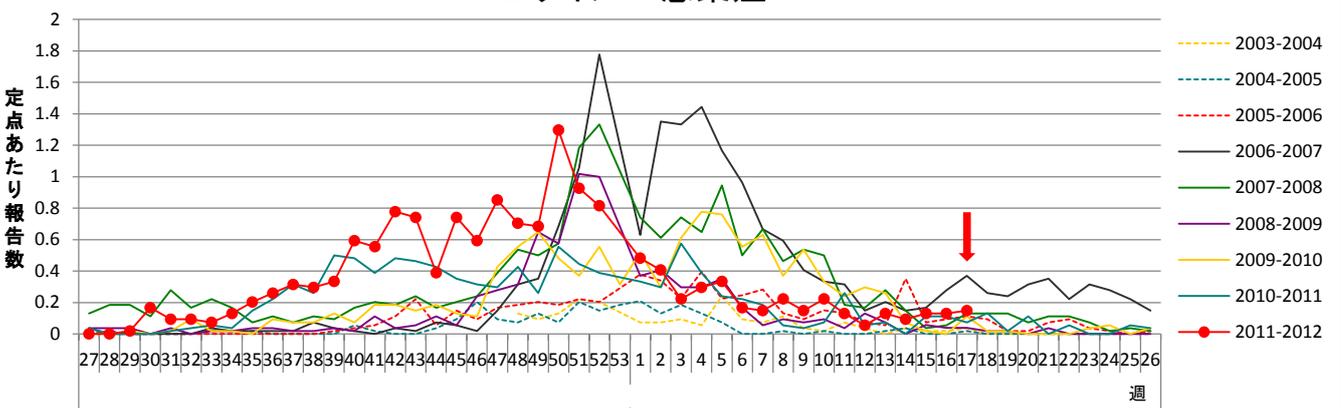
2012年 17週

分類	疾病名	2012			疾病名	2012			疾病名	2012		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	3	121	557	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	-	3	67
	腸チフス	-	1	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	3
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	-	3	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	1	7	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	4	11	ウイルス性肝炎*3	-	3	9	急性脳炎*4	-	-	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	5	15	ジアルジア症	-	1	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	2	9	破傷風	-	-	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	-	風しん	-	-	1
	麻しん	-	5	4		-	-	-		-	-	-

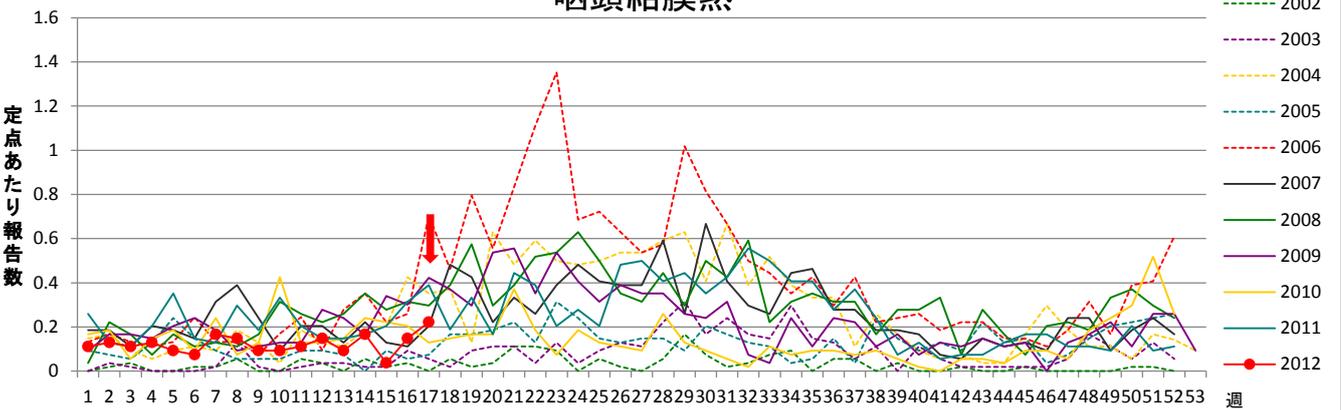
インフルエンザ



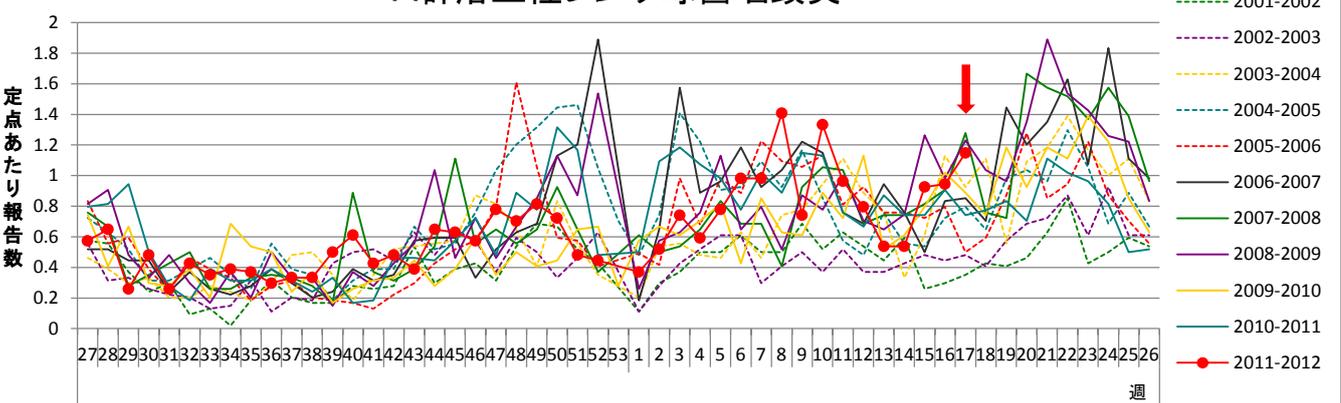
RSウイルス感染症



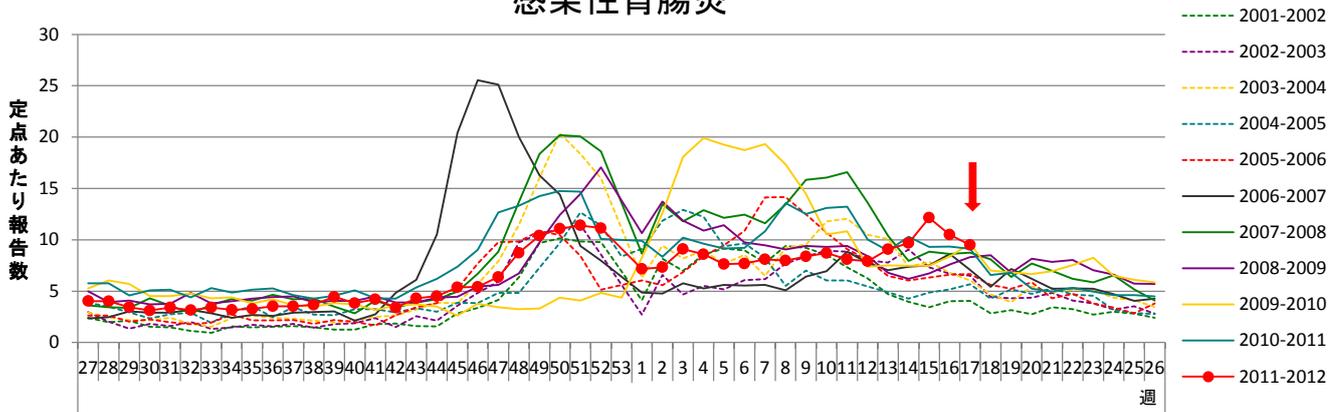
咽頭結膜熱



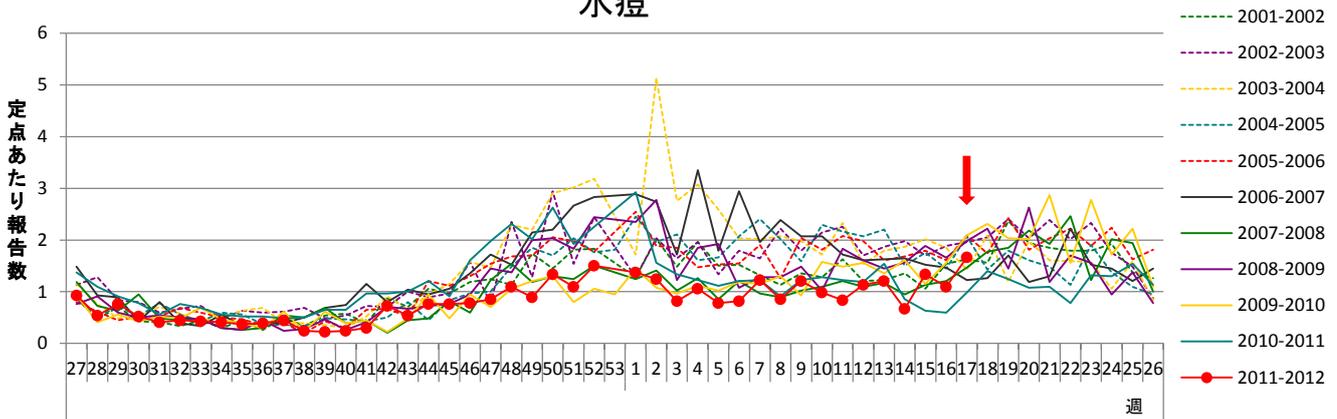
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



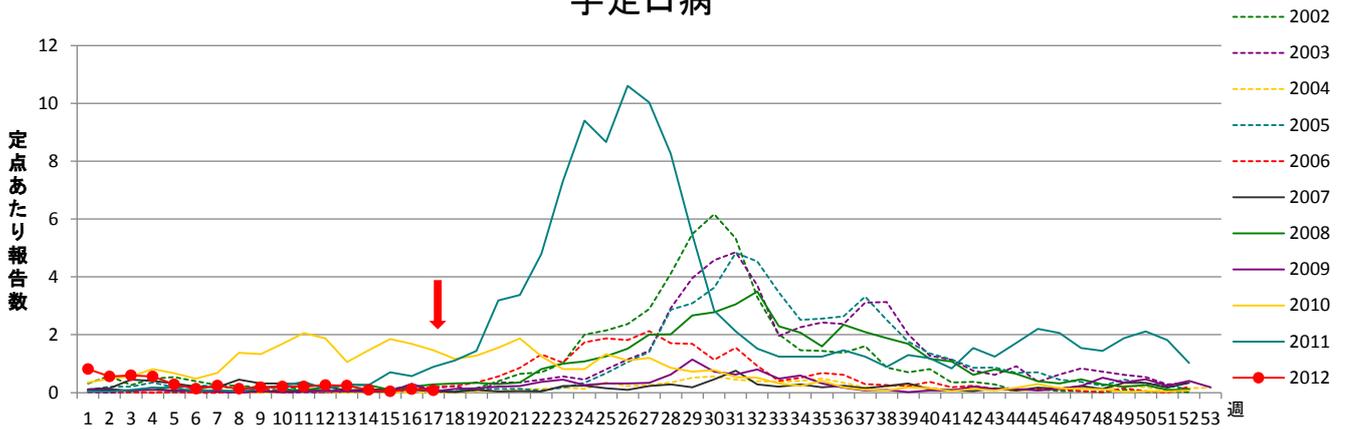
感染性胃腸炎



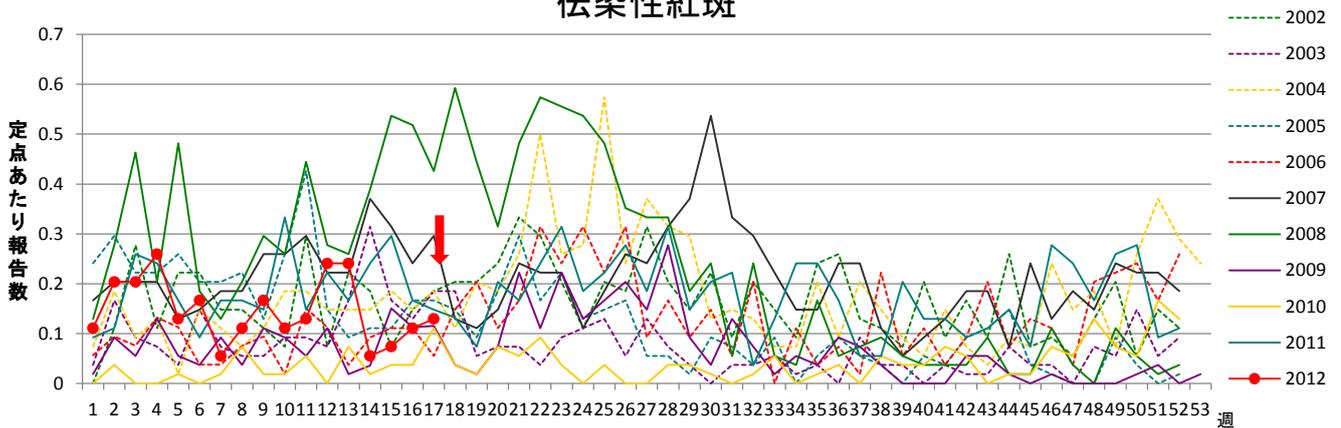
水痘



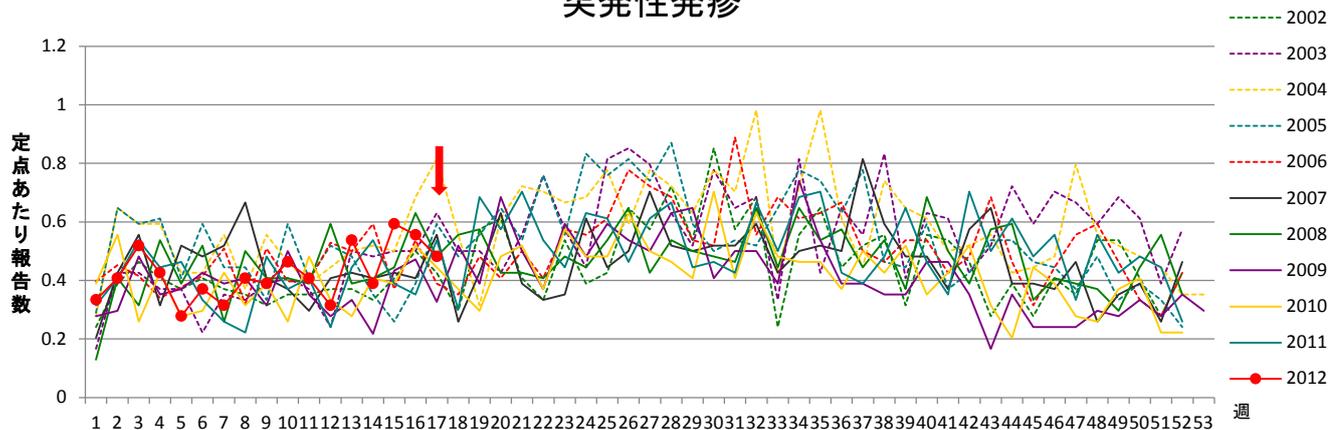
手足口病



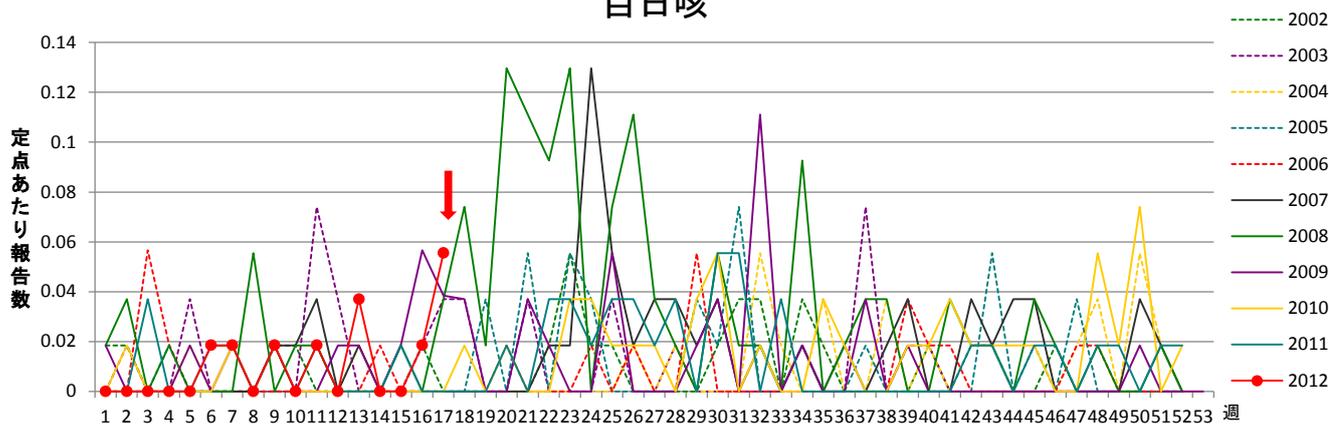
伝染性紅斑



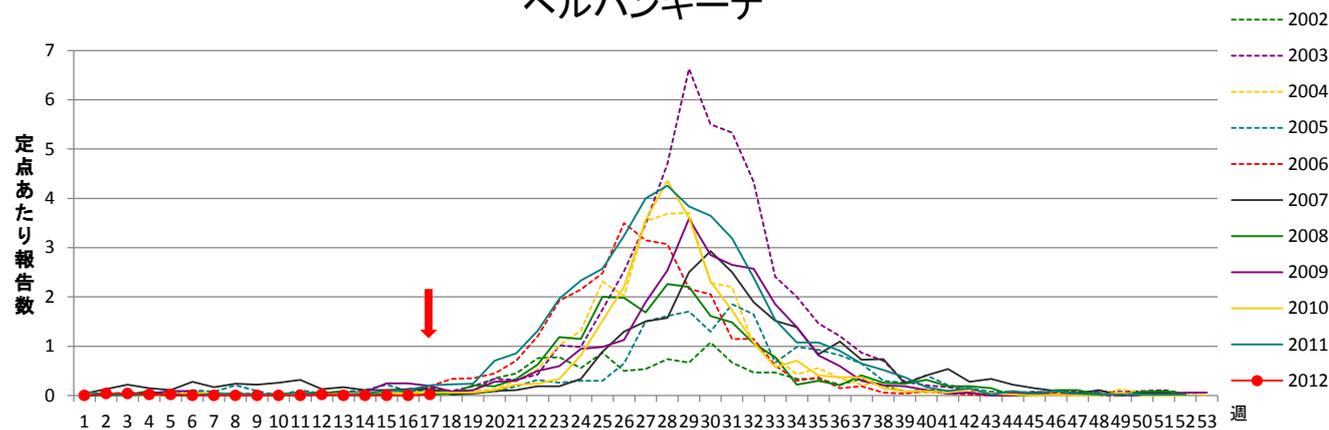
突発性発疹



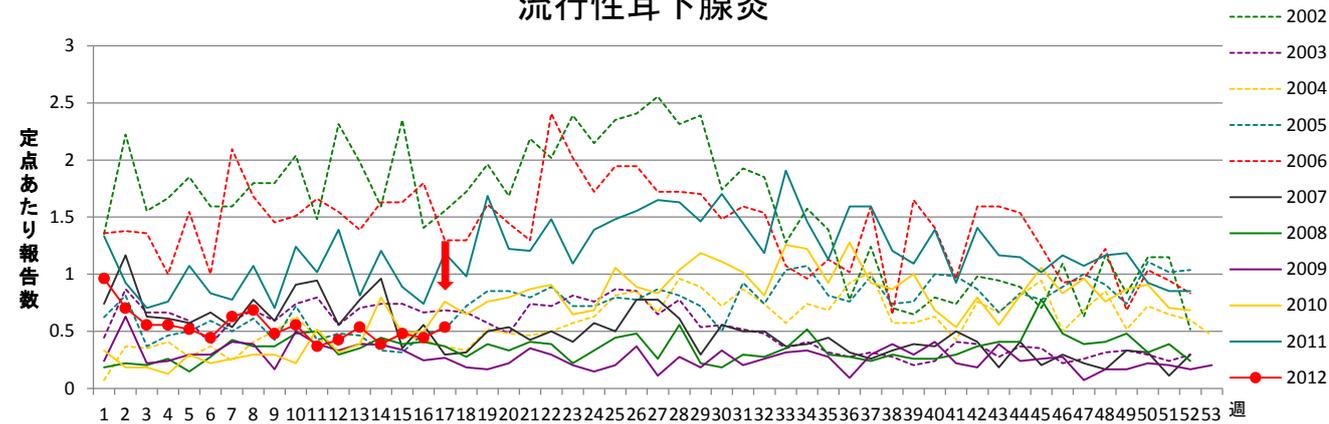
百日咳



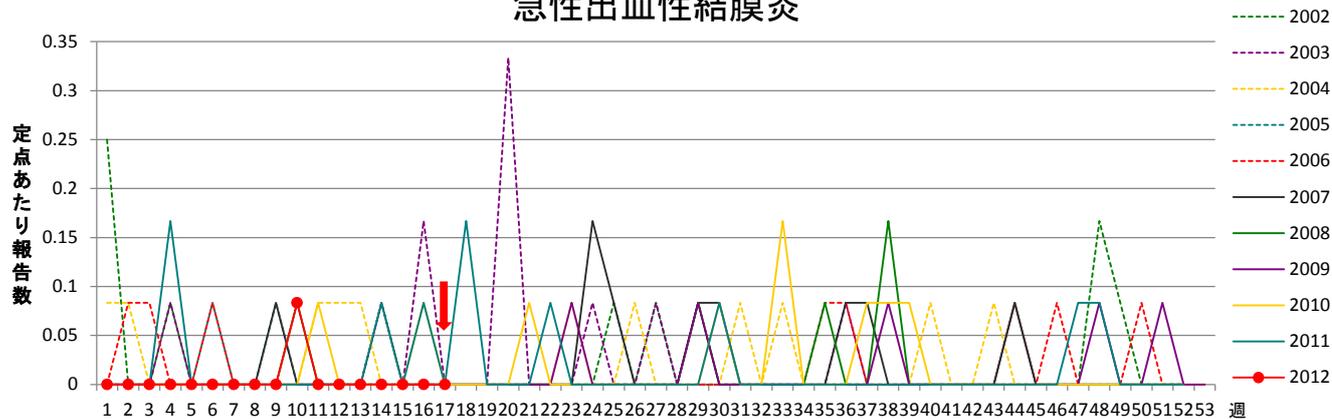
ヘルパンギーナ



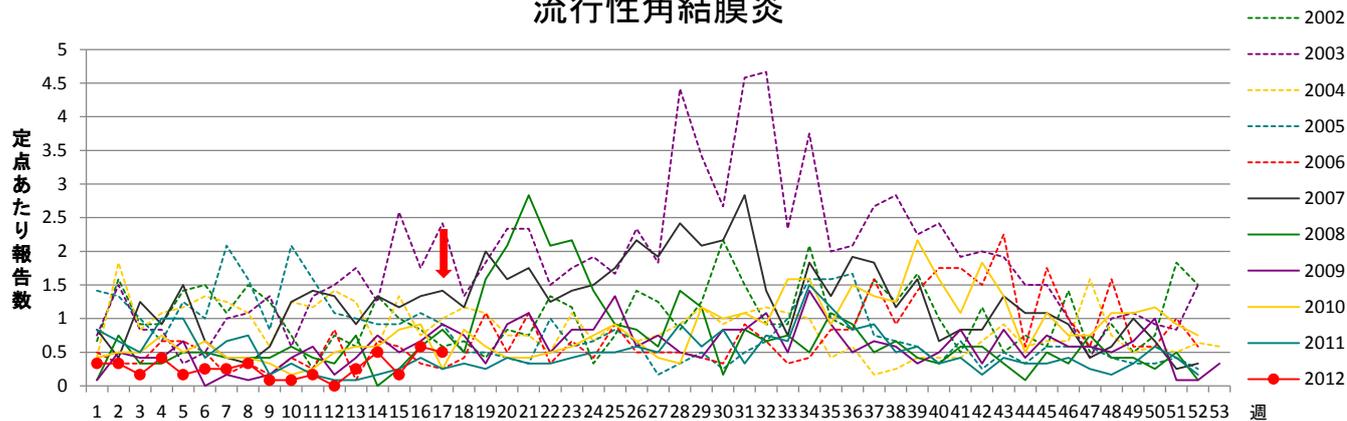
流行性耳下腺炎



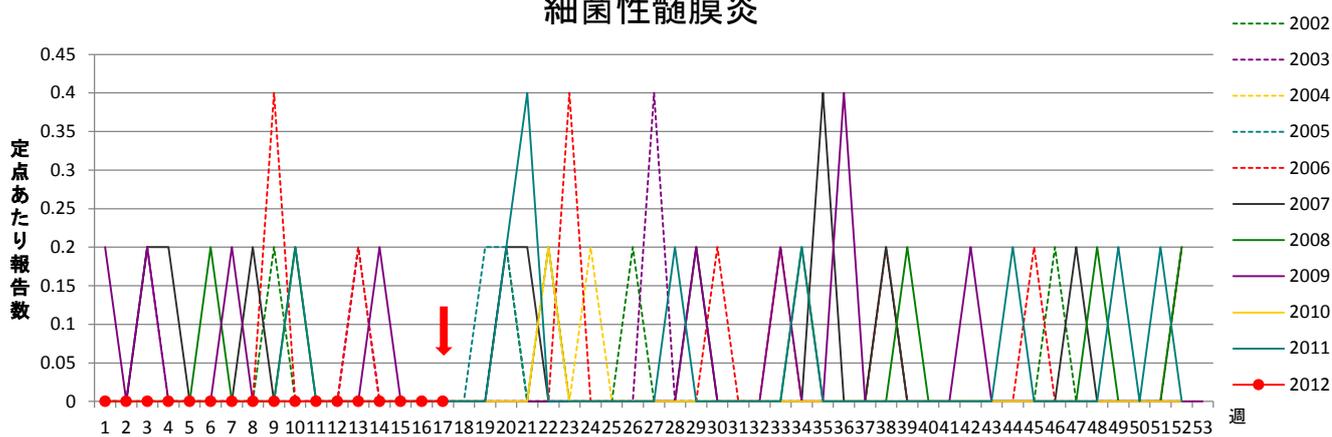
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎

